

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年06月05日

計画の名称	姫路市における循環のみち実現（3）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	姫路市												
計画の目標	下水道の整備を推進し、安全・安心、快適な暮らしを実現するとともに、良好な水環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,200	A	1,190	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.83	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道処理人口普及率を92.2%（H30）から93.0%（R6）に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/総人口（536,192人 H30年度末）	922（×0.1%）	925（×0.1%）	930（×0.1%）

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	管渠（ 污水）	新設	管渠新設事業（中部処理 区他）	分流管新設 200～600・MP設 備新設・増設	姫路市						890		-	
	A07-002	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	終末処 理場	新設	処理場新設・増設事業（ 中部処理区他）	終末処理場・前処理場 新設 ・増設	姫路市						200		-	
	A07-003	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	ポンプ 場	新設	ポンプ場新設・増設事業 （中部処理区他）	ポンプ場 新設・増設	姫路市						100		-	
												小計						1,190		
												合計						1,190		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	姫路市	間接	個人	-	-	被保護世帯水洗化助成事業	水洗化工事 10件/年	姫路市						10	-	
		被保護世帯に水洗化を促し水洗化率向上を図り、健全な都市活動を確保することができる。																	
											小計						10		
											合計						10		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	55	52	60		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	55	52	60		
前年度からの繰越額 (d)	0	16	9		
支払済額 (e)	39	59	25		
翌年度繰越額 (f)	16	9	44		
うち未契約繰越額(g)	0	1	2		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	1.47	2.89		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における循環のみち実現（3）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画（流総計画、都市計画、公害防止計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 下水道の諸計画（流域下水道事業計画、公共下水道事業計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 3) 関連する諸計画（総合計画、生活排水処理計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 指標と数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面)

